

第5回いわてビジネスプラングランプリ開催要領

1 開催目的

県内における新たな事業の創出とその発展を図るため、新事業プランをお持ちの方々に事業プラン発表の場を提供し、事業プラン実現のための一助とすることを目的とする。

2 主 催

財団法人いわて産業振興センター

(1) 共催

ア いわて起業家サポーターリングネットワーク会議構成機関

【岩手県、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、国立大学法人岩手大学地域連携推進センター、公立大学法人岩手県立大学地域連携研究センター、フューチャーベンチャーキャピタル(株)岩手事務所】

イ 岩手県教育委員会

(2) 後援

盛岡市産業支援センター、花巻市起業化支援センター、宮古市産業支援センター、(株)北上オフィスプラザ、(財)岩手県南技術研究センター、(財)釜石・大槌地域産業育成センター

県内の各報道機関、金融機関

(3) 協賛

県内に事務所、工場、店舗等を有する企業5社程度(協賛企業依頼は、別途伺います)

3 開催日時

平成21年11月26日(木)

午前9時～午後5時30分

・ビジネスプラン公開審査

(ビジネスプランのプレゼンテーション、審査員の質疑等により審査)

・過年度のグランプリ受賞者によるプレゼンテーション

・表彰式

午後5時30分～

・グランプリ受賞祝賀会

4 開催会場

盛岡市盛岡駅前北通2-27

『ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング4階 メトロホール東』

5 グランプリ

「スタートアップ部門」、「イノベーション部門」及び「高校生部門」の最大各4者による事業プランのプレゼンテーション審査によりグランプリ者を決定する。

ただし、各部門の最大参加者が4者に満たない場合には、この限りではない。

6 審査員

県内外5名。

7 表彰

各部門に対し、「グランプリ」、「優秀賞」、「特別賞」、「協賛企業賞」を決定し、表彰するとともに、トロフィー、副賞等を授与する。

高校生部門については、上記以外に「敢闘賞」を決定し、表彰するとともに、副賞等を授与する。

ただし、「グランプリ」として相応しい該当者がいない場合にはこの限りではない。

なお、各部門における詳細は下記のとおりとする。(各部門を最大4者参加の場合)

記

【賞状・表彰授与】

表彰種／部門	スタートアップ	イノベーション	高校生
グランプリ者	知事名賞状(1)	知事名賞状(1)	教育長賞状(1)
優秀賞	理事長表彰状(3)	理事長表彰状(3)	理事長表彰状(3)
敢闘賞	—	—	理事長表彰状(4)
特別賞	理事長表彰状(1)	理事長表彰状(1)	理事長表彰状(1)
推薦賞(支援機関)	対象者あれば 知事名賞状	対象者あれば 知事名賞状	対象者あれば 教育長賞状
協賛企業賞	—	—	—

【トロフィー授与】

表彰種／部門	スタートアップ	イノベーション	高校生
グランプリ者	トロフィー(1)	トロフィー(1)	トロフィー(1)
優秀賞	トロフィー(3)	トロフィー(3)	トロフィー(3)
敢闘賞	—	—	—
特別賞	トロフィー(1)	トロフィー(1)	トロフィー(1)
推薦賞(支援機関)	—	—	—
協賛企業賞	—	—	—

※ () 内の数字は対象者数となります

【副賞授与】

表彰種／部門	スタートアップ	イノベーション	高校生
グランプリ者	50万円	50万円	教材30万円
優秀賞	—	—	教材10万円
敢闘賞	—	—	教材3万円
特別賞	—	—	—
協賛企業賞	協賛企業提供商品	協賛企業提供商品	協賛企業提供商品

以上

8 ビジネスプランの募集から審査

(1) ビジネスプランの募集

ア 部門及び応募資格

部門	応募資格
スタートアップ	1年以内に創業を目指している方、若しくは事業開始後3年未満の方で新技術やビジネスアイデアにより事業展開を図っている方。
イノベーション	創業後3年以上を経過し、新商品開発や新サービス開発等の新事業展開により事業革新を図っている方。
高校生	岩手県内の高等学校・高等専門学校であり、地域活性化のビジネスアイデアを有している教育機関。 応募は、申込み単位は学校単位。1校につき最大2グループのエントリー可。

イ 募集期間

平成21年7月1日(水)～9月7日(月)

ウ 募集方法

紙媒体による募集とし、原則として県内の各産業支援機関の推薦による公募とするが、当センターでも直接受け付けることとする。

エ 募集周知

ビジネスプラン募集のチラシを作成し周知を図るほか、当センターホームページへの掲載、県内の各地域で発行されている新聞等に募集案内の広告掲載を行う。

(2) ビジネスグランプリ出場者の選定

応募締め切り後、「いわて起業家サポーターネットワーク会議」構成機関で組織する一次審査会において、応募者全員によるプレゼンテーション(応募書類若しくは、パワーポイントによる)を行い、評点順位審査によりグランプリへの採択者、各部門4者程度を決定する。

ただし、高校生部門については、書類選考のみとする。

(3) 審査方法

「新規・独自性」、「市場性」、「実現可能性」、「社会貢献度」、「表現力」等について、一次審査、グランプリにおいて審査することとする。

9 その他

この要領に定めるもののほか、この事業の実施に関し必要な事項は、センター理事長が別に定める。